

兵庫県の在来黄花のタンポポ

～タンポポ調査・西日本 2015 から～

西日本 19 府県では、2014,2015 年の春に、市民参加調査として、「タンポポ調査・西日本 2015」が実施されました。その中で、兵庫県では、1,344 名から 3,356 点のタンポポの頭花が集まりました。兵庫県では、県立人と自然の博物館に事務局を置き、兵庫県生物学会、兵庫県高等学校教育会生物部会の協力で参加者を募り調査を行った。一般向けの説明会は、伊丹市昆虫館、姫路市立手柄山植物園、姫路自然観察の森で開催しました。

2004/05、2009/10 と同じく、個人のほか、学校、市民団体から多数のタンポポが送られてきました。

今回特筆すべきは企業（NTT 西日本、三菱電機）の参加です。当初は資金協力をお願いしていたのですが、CSR 事業として、社員がタンポポ調査に参加いただきました。特に NTT 西日本社員の方々は西日本全域 1000 件以上のサンプルとさまざまな感想をいただきました。



カンサイタンポポ

頭花は小さい。西日本に普通だが、日本海側は少ない。



セイタカタンポポ

北陸～滋賀県に多い。県内は移入の可能性が高い。



シナノタンポポ

大きな総苞外片が特徴。中部以北に多く、県内は移入？



ヤマザトタンポポ

豊岡市出石が基準産地。大型でレモン色の頭花が咲く。



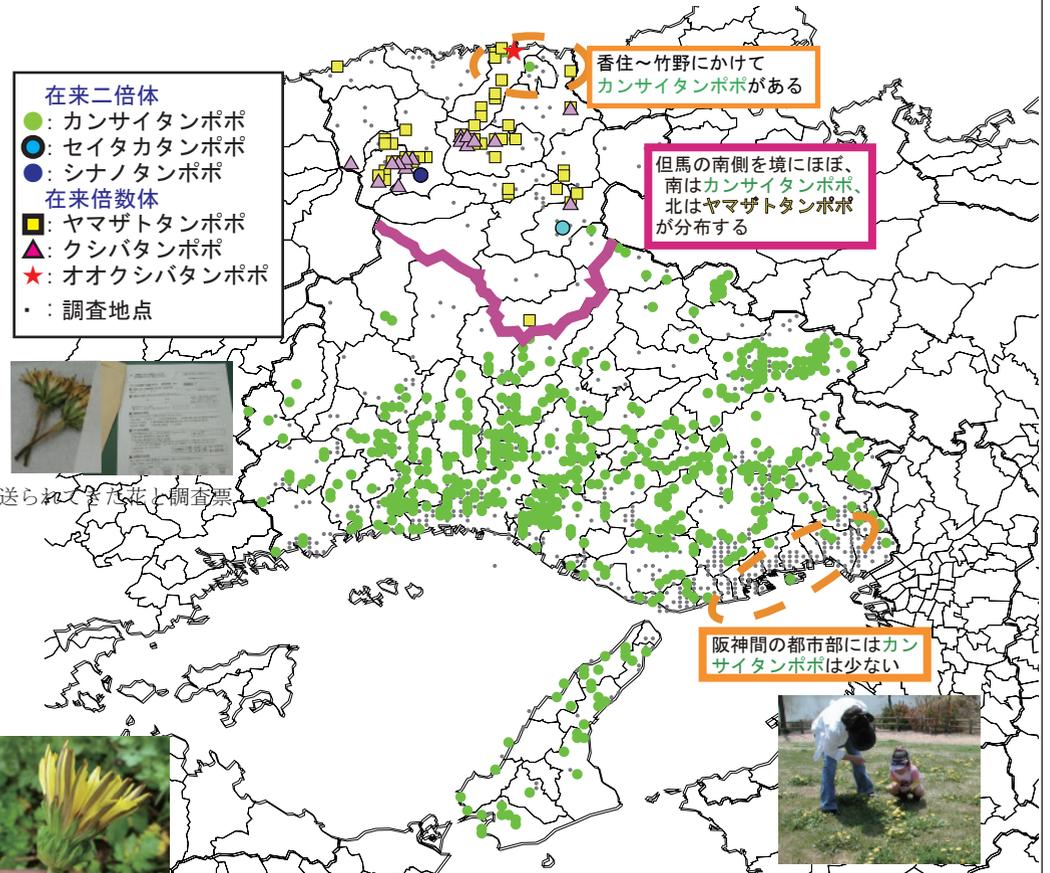
クシバタンポポ

「下ぶくれ」の頭花。葉は「くし葉」になる。



オオクシバタンポポ

クシバに似るが頭花は大きく、葉はクシバでない。



タンポポ調査・西日本 2015～コミュニケーションツールとしての市民調査1
 代表者：鈴木 武
 協力者：タンポポ調査・西日本実行委員会、兵庫県生物学会、県立兵庫高校、県立有馬高校、県立香寺高校、兵庫県立大附属中学校、神戸学院大附属高校、宝塚市立末広小学校、六甲山自然案内人の会、NTT 西日本ほか
 財源：研究費、助成金（国際花と緑の万博協会、西日本自然史ネットほか）